



# 市之倉だより

多治見市立 市之倉小学校 令和8年3月号  
507-0814 多治見市市之倉町 10-381

TEL 0572-22-3702 ホームページ <http://school.city.tajimi.lg.jp/ichinokura/>

乾燥した毎日が続き、インフルエンザをはじめさまざまなウイルスへの感染拡大が心配されます。引き続き体調管理には十分お気を付けください。

子ども達の元気な姿を日々HP にアップしています。お時間があるときにご覧いただき、ご家族の話題の一つとしていただければと思います。

## 【学校の教育目標】

互いに認め合う子  
自ら考え行動する子  
市之倉のよさを語れる子

## 「市之倉のよさを語れる子」

校長 河合 哲仁

本校では、学校教育目標の一つとして「市之倉のよさを語れる子」を掲げ、学校経営方針の柱に位置付けて教育活動を進めてまいりました。これは、地域に誇りを持ち、自分の生き方の土台を築くことが、子どもたちの将来の可能性を広げると考えているからです。

「地元を強くもっている人ほど、遠くに行ける」という言葉があります。

一見すると、「地元を強くもつ」とことと「遠くへ行くこと」は反対のように思えます。しかし実際には、自分が育った場所や人とのつながりを大切にし、自分の土台をしっかり持っている人ほど、新しい世界へ挑戦する力を持つのではないのでしょうか。つまりそれは場所的な距離ではありません。

自分が育った場所や人とのつながりを理解し、大切にできる子どもは、変化の大きい社会においても自分を見失わず、新しい環境に挑戦していく力を身に付けることができるとも言えるでしょう。本校の教育目標は、まさにその力を育て、どこに居ても、自分のルーツを大切にし、自信をもって未来を切り拓いていける力を育てることを目指しています。

そして、その教育は学校のみで培えるものではありません。地元「市之倉」が必要です。本年度も様々な力をいただきました。学校運営協議会や地域学校協働本部の方々、保護者さん、PTA 本部役員さん、はっぴいクローバーさん、窯元さん、工業組合さん、公民館、児童館、消防団、派出所、商店、地元企業、登下校を見守ってくださる皆さん、資源回収ボックスに資源を入れてくれる地域の方などなど、数え上げればキリがないほど我々職員や児童がお世話になっています。

しかし、あまりにも自然にスムーズに地元の方々に関わっていただけるので、それが「あって当たり前」になってしまう恐れがあります。そこで我々は子供たちに一つ一つの事柄を丁寧に事前と事後に説明し、その意義を理解させ、感謝を忘れない子を育てることで、「自信をもって市之倉のよさを語れる子」の育成を今後も大切にしていきたいと思えます。

将来、子どもたちが進学や就職でこの地を離れることがあるかもしれません。その時、ここ市之倉で過ごした日々や支えてくださった人々の存在が、子どもたちの背中をそっと押す力になることを願っています。地域の皆様、引き続きよろしく願いいたします。



【6年生から地域学校協働本部の方へ感謝の手紙を】

# 令和7年度 児童・保護者アンケートから

〈令和7年度12月 児童アンケート〉

回答数：140 / 154名

A：はい B：どちらかといえばはい C：どちらかといえばいい D：いいえ		A	B	C	D	A+B	前回比
①	自分の考えをもち、意見を発表している	61	50	25	4	79.3	-1.9%
②	話し合い活動に進んで参加している	70	53	15	2	87.9	-2.1%
③	自分の思いや考えを仲間や先生に伝えている	63	58	15	3	87.1	3.7%
④	学級で決めたことを仲間と一緒に取り組んでいる	94	41	3	1	97.1	5.8%
⑤	学級が楽しくなるように働きかけをしている	67	59	12	2	90.0	8.7%
⑥	学級の仲間のよさをわかろうとしている	78	49	9	3	91.4	0.2%
⑦	自分は仲間の役に立っている	53	61	17	7	82.6	3.3%
⑧	学級は楽しい	93	38	6	3	93.6	7.1%
⑨	学校は楽しい	87	38	7	8	89.3	2.0%
⑩	安全に気を付けて生活して、いのちを大切にしている	105	31	2	1	97.8	1.2%
⑪	進んで家庭学習に取り組んでいる	66	49	19	5	82.7	-5.3%
⑫	家族の一員として、家庭でお手伝いをしている	72	51	12	3	89.1	2.0%
⑬	規則的な生活リズムで生活している	74	50	12	2	89.9	6.0%
⑭	学校であったことを家の人に話している	70	54	11	3	89.9	9.9%
⑮	家族や地域の人にあいさつをしている	93	36	6	3	93.5	2.1%
⑯	失敗を恐れずどんなことにも挑戦している	62	51	21	2	83.1	-0.1%
⑰	友達が自分のよさを分かってくれていると感じている	63	60	11	5	88.5	3.2%
⑱	学校生活で違う立場や考えを理解し、相手のよさを認めていっしょに活動している	70	56	9	2	92.0	-1.3%
⑲	自分にはよいところがあると感じている	71	49	14	5	86.3	5.0%
⑳	よりよい生活に向けて、自分で考え行動している	74	57	7	1	94.2	2.4%

## 〈児童アンケートより〉

- ④から、95%以上の児童が、話し合いにより決まったことなどの活動を積極的に仲間と一緒に取り組んでいると考えられる。よって仲間と一緒に頑張っていないと感じる児童の割合が減った。
- ⑤から、楽しい学校にしたいと考えて、行動する意識が高い。
- ⑪から、進んで家庭学習に取り組んでいなかったと感じる子どもへのアプローチを工夫したい。
- ⑭の学校であったことを家の人に話している割合が高くなり、これは⑲の自分にはよさを感じられる児童の割合が高くなったにつながっていると考えられる。

## 〈保護者アンケートより（次ページ）〉

- ②から、昨年度に引き続き、保護者の皆さんに学校の様子を感じていただくことができた。
- ⑥に関して、より児童や保護者の方に寄り添った指導、支援を大切にしたい。
- ⑨から、「家でも、ちょっと調べてみよう、考えてみよう」につながる授業改善を推進したい。
- ⑭から、「挑戦」のとらえ方が保護者の皆さんによって様々なことが考えられるが、昨年度より上昇していることから、認めてもらえる機会が増え、取組む姿勢が高まって
- いると考える。
- ⑯から、子どもたちは、保護者の皆さんのご支援や声掛けにより、相手意識を高めている。児童のお互いの良さや頑張りを認める心につながっている。

「令和7年度 学校保護者アンケート」にご協力をいただきありがとうございました。今年度も、紙の削減、集計作業の効率化等から、児童・保護者共 web 回答とさせていただきます。保護者さんの回答率が60%程度でしたが、より多くのご意見を伺いたいと思いますので、ぜひ、来年度以降もアンケートへのご協力よろしく申し上げます。

今年度も、意図的な「学級経営」の中で、体験的な活動等を進めてきました。そのため、学級で決めたことをみんなで取組むことや相手を認める気持ちにおける児童アンケート結果は全体的に高いポイントです。ただ、話し合いに進んで参加することや家庭学習を取組むことが昨年度より減っているため、さらなる改善を進めていきたいと思っております。

楽しい学校を目指すことと子どもたちにつけたい力を明確にしながら、学校と家庭、両方で取り組んでいくことで、より成果が得られると感じます。さらにPTAと連携するなどして、共通理解・共通行動ができるように工夫していきたいと思っております。

〈令和7年度 保護者アンケート〉 令和7年12月実施 96/156名 回答率 61.5%

	A:よくあてはまる	B:あてはまる	C:あまりあてはまらない	D:あてはまらない	A+B	前回比	
①	学校は、めざす学校像「みんなでつくる楽しい学校」に向け、一人一人の個性を大切に、仲間と共に高めあう学校づくりをしている。	24	60	2	3	94.4	-4.6%
②	学校は、学校報やホームページなどで、活動の意図や子どもたちの様子をわかりやすく伝えている。	51	45	0	0	100.0	1.0%
③	学校は、保護者が連絡や相談したいことについて、丁寧に対応している。	30	57	4	2	93.5	-2.5%
④	学校は、それぞれの学級で設定した目標の達成に向けて学級づくりをしている。	21	63	2	1	96.6	-0.2%
⑤	学校は、子ども一人一人の理解に努め、よさを伸ばすことを大切にしている。	26	58	4	1	94.4	-0.3%
⑥	学校は、いじめなどの問題行動に対して、未然防止や早期発見・早期対応に努めている。	23	47	6	2	89.7	-5.3%
⑦	学校は、お子さんに基礎的な学力が身に付くよう指導している。	21	65	4	2	93.5	-3.2%
⑧	お子さんは、安全に気を付けて生活し、いのちを大切にしている。	40	52	2	1	96.8	-1.2%
⑨	お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいる。	23	39	35	1	63.3	-6.4%
⑩	お子さんは、家族の一員として、家庭でお手伝いをしている。	28	52	16	0	83.3	3.9%
⑪	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんをしっかりと食べるなど、規則的な生活リズムで生活している。	42	42	14	0	85.7	0.4%
⑫	お子さんは、学校であったことや困りごとなど、保護者に話をしている。	40	46	8	2	89.6	4.4%
⑬	お子さんは、家族や地域の人に、あいさつをしている。	23	58	11	3	85.3	-2.4%
⑭	お子さんは、失敗を恐れずどんなことにも挑戦している。	12	59	24	1	74.0	6.6%
⑮	お子さんは、友達が自分のよさを分かってくれと感じている。	13	62	6	0	92.6	4.2%
⑯	お子さんは、ちがう立場や考えを理解し、相手のよさを認めて共に活動している。	17	67	3	0	96.6	5.5%
⑰	お子さんは、自分にはよいところがあると感じている。	19	67	6	1	92.5	-0.2%
⑱	お子さんは、自ら考え、行動している。	17	65	11	1	87.2	-1.3%
⑲	保護者は、お子さんが安心して学習や生活ができるよう、見届けや声かけをしている。	23	72	2	0	97.9	-0.1%
⑳	保護者は、お子さんのよさを認めたり励ましたりしている。	41	56	1	0	99.0	1.9%

〈令和7年度 保護者アンケート「子どもたちの“笑顔”につながるご意見」や改善案〉

- ・先生方には、子供の良いところを見つけ、認めてくださり、また本人にも伝わるように接してくださり、とてもありがたく思っています。
- ・いつも、親身になって丁寧に向き合って下さりありがとうございます。おかげさまで、安心して、楽しく学校生活をおくれております。
- ・子どもたちの声に耳を傾けてほしい。大人は脇役で子どもが主役になるようにお願いします。
- ・下校時に泣きながら帰ってくる子達を何度も見えています。学校を出た後に何かしらの嫌がらせ的なものが発生しているように感じています。見回り等は難しくても校内で特に班長に話をした方が良いのではないかと思います。→下校班での指導を続けます。見かけた時は、学校に一報をお願いします。
- ・いつもありがとうございます。大縄大会を参観させていただき、得意な子も苦手な子もいる中で励まし合いながら取り組んでいる姿に感動しました。体育参観は早い時期ではありますが1,2年もチェッコリ玉入れ以外を見たいなと思ってしまいます。2年連続同じものでチェッコリ玉入れでは成長が感じられにくいなと思いました。→ブロック学年での教え合いを考え、プログラムを組んでいます。2年生の成長が感じられるよう工夫します。
- ・目に見える違いや、名前のついた違いだけでなく、さらに一歩進んだ「多様性」についても考えて頂けるような学校教育をぜひお願いします。→今後も多様性についての学びを全校で考えていきます。
- ・いつもありがとうございます。先生が子どものよさを認め、励ましていただけるおかげで毎日楽しく学校に通い、前向きに過ごせています。今年は係だけでなく会社としての活動もしているので、相手を喜ばせるということにも目を向けられたと思います。ありがとうございます。またどの行事もとても楽しんで参加できています。ありがとうございます。来年はいよいよ高学年なので、心配もありますが、責任感や自覚を持ち、主体的に動けるようになるといいなあと思います。これからもよろしくお願いします。
- ・食事の時は何でもいから学校で起きたことを聞くようにしてます。
- ・安心して伸び伸び学校で生活できるようにお願いします。ただ一つの願いです。
- ・自分の殻を壊し積極的にアピール出来る場面が必要。
- ・子どもたちが安心して楽しく過ごせる環境づくりをこれからもよろしくお願いします。